

日本物理学会領域 2 運営会議 議事録

日時: 2017 年 3 月 18 日 (土) 12:15-

場所: 大阪大学 豊中キャンパス C34 会場

司会: 領域 2 副代表 政宗貞男

出席者: 参加者 約 40 人

報告事項

翌日の領域 2 運営会議の資料について確認を行った。

1. 2017 年 4 月からの新役員体制と役割分担の確認があり, 次期役員候補者の紹介があった。

資料に基づいて, 報告があった。

領域代表 政宗貞男 (京都工芸繊維大),

領域副代表 洲鎌 英雄 (NIFS),

領域前代表 上杉 喜彦 (金沢大)

次期役員(就任は 2017 年春に選出し, 2017 年秋より)に関する推薦の依頼があった。

候補者は下記の通り

- 1- NIFS の方
- 2- 白石淳也 (量研機構)
- 3- 森 芳孝 (光産業創成大)

2. 学生優秀発表賞に関する報告があった。

- 2016 年秋季大会では, 応募総数 21 件、内 4 件を選出
- 2018 年から物理学会が設ける賞になる旨説明があった。

3. 若手奨励賞 (第 12 回 (2017 年)) 受賞者報告があった。

2 名応募に対して, 下記の 2 名が受賞。受賞記念講演は 3 月 20 日 11:15-12:25

小林達哉 核融合科学研究所

WANG Hao 核融合科学研究所

4. 2017 年秋季大会企画セッション提案(Plasma2017 より 2 年間)に関して下記の紹介があり, 了承された。

セッション名 非平衡極限プラズマ

提案者 藤澤彰英(九大)

5. プラズマ宇宙物理合同セッションの継続に関する提案
今後下記の3回にわたり継続することを理事会へ提案する旨説明があった。
第10回 物理学会第73回年次大会@東京理科大 (2018.3)
第11回 地球惑星科学連合2020年年次大会@幕張メッセ (2020.5)
第12回 日本天文学会2022年年次大会@未定(2022.9)
第10回 合同セッション世話人 政宗, 蔵満, 森田, 藤岡
協賛学会員に関しては, 物理学会と同等の資格で参加できるように, 理事会へ提案する旨説明があった。
6. 2017年秋季大会を Plasma Conference 2017 として開催する旨紹介があった。
- 2017年11月21日 - 24日
 - 基調講演に関しては4件の内諾が得られている。
 - 招待講演は全体で25件程度を予定しており, プログラム委員会による推薦のみで進める旨, 説明があった。
 - シンポジウムは, 物理学会枠は下記の通り。
公募開始3月13日, 提案締切5月8日
1- プログラム委員提案分 (物理学会から1件)
2- 一般公募分 (物理学会から1件)
3- 融合シンポジウム (3学会以上が関連することが条件) (全体で3件)
 - 関連して下記の質疑応答があった。
今回から4学会に増えているが, 新しく加わった153委員会は次回の担当学会になるのか?
→そのような約束事は現時点ではされておらず, 企業の関係者を呼び込みたいため, 153委員会の参加が承認された旨説明があった。
上記案件はすでに決定事項である。基本的には物理学会の理事会へと報告する必要があるとの指摘があった。→理事会への提案書へは記載済みである。
7. 領域委員会の報告
- 学生優秀発表賞(物理学会の設ける賞)の実施要領に関して説明があった。
領域2のこれまでの実施要項を, 極力踏襲するような形で要望を出す。
これまでの受賞者への賞状を要望する。
これまでに領域2は, 理事会へ報告して実施していたことを, 誤解がないようにして頂きたい。また領域2では副賞の配布を検討頂きたい。
8. 日本学術会議の報告 (マスタープラン 2017)
- 資料に基づいて説明があった。
9. AAPPS 報告と磁界 AAPPS-DPP2017 に関する紹介。

- 資料に基づいて説明があった.
10. 2017 年年次大会講演数
- 今年次大会は 166 件 (内ビーム物理領域 18 件)の一般講演。他シンポジウムおよび招待講演, 若手奨励賞講演 全て入れると 187 件.
11. その他の案内。
- メーリングリストの加入は, PlasmaML-owner@nifs.ac.jp へ
 - 懇親会 (申し込みは現時点で 35 人)

以上